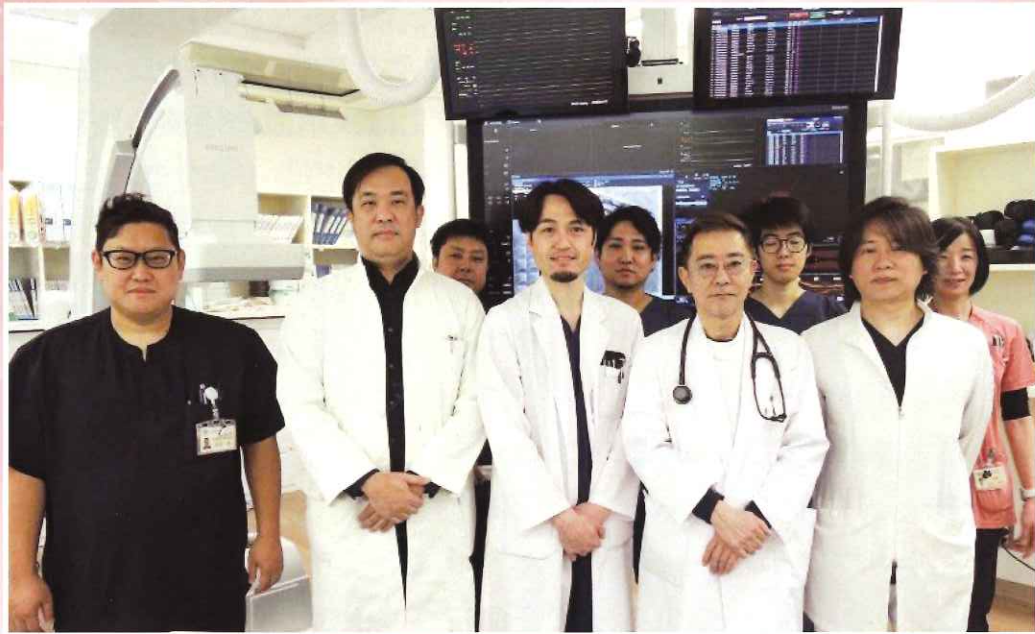


まいづるきょうさい れんけいだより



血管撮影装置リニューアル!!

舞鶴共済病院の理念

当院は患者さんに良質で安心していただける医療を提供いたします

舞鶴共済病院の基本方針

- ① **良質で安全な医療** 私達は安全で質の高い医療を目指し患者さんの信頼を得るよう全力を尽くします。
- ② **患者さんを中心とした医療** 私達は患者さんの人格・権利を尊重し十分な説明を行うとともに患者さんの了解のもとに医療を行います。
- ③ **地域との積極的な連携** 私達は地域の医療ニーズに応え地域と密接な連携を大切にいたします。

CONTENTS

- 新しい血管撮影装置Azurion 7の導入と心血管カテーテル室の展望・・・1
- 血管造影室における看護師の役割・・・・・・・・・・2
- 臨床工学科・放射線技術科の業務・・・・・・・・・・3



(財)日本医療機能評価機構認定病院
国家公務員共済組合連合会 **舞鶴共済病院**

〒625-8585 京都府舞鶴市字浜1035番地 TEL 0773-62-2510(代) FAX 0773-64-4301(代)
https://maizuru.kkr.or.jp https://www.facebook.com/kkr.maizuru/



新しい血管撮影装置 Azurion 7の導入と 心血管カテーテル室の展望



循環器内科部長 兼 心血管カテーテル室長

松尾 清成



この度、舞鶴市の地域医療環境充実事業の助成を受け、今年4月から血管撮影装置をPHILIPS社のAzurion 7シリーズにリニューアル致します。第1カテーテル室には心臓専用機としてシングルプレーンを、第2カテーテル室には末梢血管治療や腹部血管治療及び不整脈アブレーション治療用に汎用機としてバイプレーンを設置予定です。これまで使用してきた血管撮影装置は10年以上の役目を終えて昨年末から解体工事を開始しており、近隣の病院や施設の先生方には患者様の受け入れ等で大変ご迷惑をお掛けしておりました。今回リニューアルする血管撮影装置では、PHILIPS社独自の技術により視認性の向上と被ばく線量の低減が期待できます。また、少ない造影剤量で多軌道の回転撮影を行うことでより多くの情報が得られる多軌道回転撮影機能のCardiac Swingやリアルタイムステント強調表示機能のStentBoost liveなど多彩な機能が組み込まれており、低侵襲でより質の高い医療の提供が可能となります。

私自身は昨年度より心臓カテーテル室長に任命され、時代の変化と共に新しい技術やデバイスを取り入れつつも低侵襲・低被曝の医療を提供したい思いが強くあり、今回の血管撮影装置リニューアルに関してもAzurion 7シリーズを何とか導入する為に関係各所と協議を進めて参りました。PHILIPS社の血管撮影装置は、心血管領域や脳血管領域において高く評価されており国内外のシェア率も高く、実際の使用感でも良質な画像と被ばく線量の低減を実感できており、カテーテル室スタッフの間でも非常に好印象です。

また、当院では現在進行形になりますが補助循環用ポンプカテーテル（Impella）の導入も合わせて進めております。Impellaは心原性ショック症例に適応があり、経皮的な圧・容量負荷軽減（unloading）による心筋サルベージ効果が期待でき、従来の補助装置と比較して心臓の負担を軽減して心臓を休ませることが出来るために救命率を改善する可能性があります。Impella導入にて京丹後地域を含む京都北部医療圏においては当院が唯一の導入施設となり、今後も同医療圏における循環器疾患に対する医療の中核を担いつつ、『心機一転』新しいカテーテル室にてスタッフと共に質の高い医療の提供を進めて参りたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

血管造影室における 看護師の役割

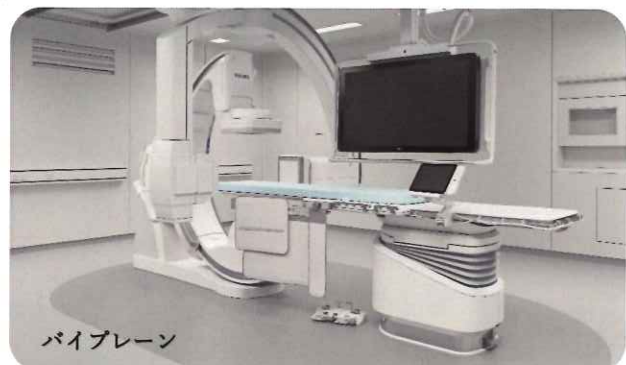


ICU・CCU看護師

インターベーションエキスパートナース 谷久悦子

4月より血管造影装置がリニューアルとなります。室内のフロアが木目調に変わったことで以前より温かみのある血管造影室となりました。新しい血管内治療用血管撮影装置を使用することで、これまで以上に鮮明で詳細な画像のもと質の高い「心臓や血管に対するカテーテル検査・治療」の提供が可能となります。しかし、多くの検査や治療は意識がある中で行われるため、患者さんの身体的な負担は軽減されますが、医療スタッフの聞きなれない言葉が耳に入り不安と緊張が増強すると思われます。そのような環境下で患者さんが少しでも安心して検査・治療を受けていただけるよう私たち看護師が寄り添い不安の軽減に努めていきます。

血管造影室では、医師をはじめ臨床工学技士・診療放射線技師などたくさんの医療スタッフがみなさんの検査・治療に関わります。患者さんの情報を医療スタッフ間で共有しながら協働し、安全で安心・質の高い医療の提供に努めます。



フロアが木目調に変わりました！

臨床工学科の業務

臨床工学科 村上拓巳



当院はこの度アンギオ装置が更新し、PHILIPS社（Azurion 7）の装置が導入となりました。

カテーテル室で臨床工学技士がどのように関わっているか紹介させていただきます。

当院では臨床工学技士は検査や治療の際の清潔介助業務や外回り業務、治療の際に使う血管内イメージング装置や生命維持管理装置の操作など幅広く携わっています。

特に臨床工学技士はカテーテル室では生命維持管理装置（IABP・PCPS・人工呼吸器など）の操作・管理することを専門としており、虚血性心疾患で来院された患者さんが安全に治療を行うことができるように業務を行っています。

他にもペースメーカー植え込み時のプログラマー操作や不整脈アブレーションの補助なども行っています。

さらに今後Impellaと呼ばれる心臓を補助する機器の導入も予定しています。

この機器は超小型のポンプをカテーテルに内蔵しており、左室内に留置し吸入部から血液を吸い込み、その血液を大動脈内の吐出部から送り出す事で順行性に循環を補助します。

PCPSは逆行性に循環を補助するのに対してImpellaは順行性であるため、心臓の後負荷を軽減することができ、心負荷軽減と心機能の回復が期待できます。

臨床工学技士として、カテーテル検査室で行う業務を医師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師とともに地域の方々に良質な医療を提供できるように努めて参ります



血管撮影装置の更新と放射線技師の業務

放射線技術科 北野琢也



当院では、12年間使用してきた2台の血管撮影装置をこの度シングルプレーン、バイプレーンともにPHILIPS社製のAzurionに更新しました。

シングルプレーンは1方向からX線が照射され、Cアームを様々な角度に振って血管を観察することで、主に心臓を栄養する冠動脈の検査・治療を行っています。

バイプレーンは正面と側面のアームを用いて2方向から同時に血管を観察することで、複雑な手技での時間を短縮、かつ造影剤の低減が可能になります。当院では主に不整脈の治療、下肢血管の検査・治療を行っており、肝細胞がんに対する抗がん剤を使用した治療も行うことが可能となります。

今回採用しましたAzurionには、Clarity IQ Technologyという最新の画像処理機能を搭載しています。この技術を用いることで、以前使用していた装置よりも大幅に被ばく線量を低減することが可能になりました。カテーテル室で従事するスタッフの被ばく、患者さんの被ばくを低減しつつ、以前の装置以上の高画質な画像を表示することができます。

また、以前には検査中には行えなかった画像処理が、検査中にも行えるようになった事で検査時間の短縮が可能になり、患者さんの負担も少なくなりました。

医師と相談し、可能な限り被ばく線量の低減と、手技時間の短縮ができるように努力し、これからも患者さんに安心して検査・治療を受けていただけるように努めます。

医療機関の皆様へ

対象の患者様がおられましたら、地域医療連携室を通じてご紹介いただきますよう宜しくお願いいたします。

国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院 地域医療連携室

〒625-8585 京都府舞鶴市宇浜 1035 番地 電話：0773-66-1508 FAX：0773-66-1548